

大和郡山市水道施設監視制御システム更新事業

提出書類作成要領及び様式集

(修正版)

令和6年10月

大和郡山市上下水道部

提出書類作成要領及び様式集 目次

1	本書の位置づけ	1
2	提出書類の作成要領	2
	(1) 入札公告等の質問・意見に関する提出書類	2
	(2) 入札参加資格確認申請時の提出書類	2
	(3) 入札書類の提出書類	3
	(4) 作成要領	3
	(5) 書式等	3
	(6) 編集方法	4
	(7) 提案書の作成における留意事項	4
3	提出方法	5
	(1) 入札公告等に関する質問・意見に関する提出書類の提出方法	5
	(2) 入札参加資格申請時に関わる提出様式の提出方法	5
	(3) 提案書に関わる提出様式の提出方法	5
	(4) 提案価格書に関わる提出方法	5
4	様式一覧	7

1 本書の位置づけ

本提案書等作成方法（以下「作成方法」という。）は、大和郡山市上下水道部（以下「本市」という。）が、「大和郡山市水道施設監視制御システム更新事業」（以下「本事業」という。）について、設計、建設を一括して行う「設計・施工一括発注方式（DB方式）」を総合評価方式一般競争入札（技術提案型）により募集及び選定するにあたり、民間事業者が提出するための図書作成方法を示すものである。

2 提出書類の作成要領

(1) 入札公告等の質問・意見に関する提出書類

入札公告（入札説明書、要求水準書、事業者選定基準、様式集、設計及び建設工事請負契約書（案）（以下「入札説明書等」という。）の質問・意見に関しては、表1の書類を電子メールで送付すること。

表 1 入札公告等の質問・意見に関する提出書類

提出書類	様式	部数	留意事項
① 入札説明書等に関する質問書	様式Ⅰに基づく	1部	電子メールで提出

(2) 入札参加資格確認申請時の提出書類

入札参加資格確認申請時は、表2に示す書類を提出すること。

なお、⑦入札参加資格の確認結果に関する説明の要求書に関しては、入札参加資格の確認結果を受けた後、本市に説明を求める場合のみ提出すること。

表 2 入札参加資格確認申請の提出書類

提出書類	様式	部数	留意事項
① 入札参加資格確認申請時提出書類一覧表	様式Ⅱに基づく	正本1部	提出書類
② 入札参加表明書			
③ 入札参加資格確認申請書			
④ 暴力団に関与のない旨等の誓約書兼承諾書			
⑤ 添付資料（後述の「様式Ⅱ」参照）			
⑥ 上記提出書類の電子データ一式※	CD-R等	1部	
⑦ 入札参加資格の確認結果に関する説明の要求書	様式Ⅱに基づく	正本1部	説明を求める場合のみ

※書類をまとめて印刷可能なPDFデータとすること。

(3) 入札書類の提出書類

入札書類提出時は、表3に示す書類を提出すること。

なお、⑦入札辞退届に関しては、入札辞退する際に、①～⑥の代わりに提出する。

表 3 入札書類提出時の提出書類

提出書類	様式	部数	留意事項
① 技術提案に関する事項	様式Ⅲに基づく	正本1部	提案書類
② 要求水準チェックリスト		副本7部	
③ システム構成図		正本1部	
④ 工程表		副本7部	
⑤ 提案書の電子データ一式※	CD-R等	1部	
⑥ 提案価格に関する事項	様式Ⅳに基づく		
⑦ 入札辞退届	様式Ⅴに基づく	正本1部	辞退時のみ

※提案書類をまとめて印刷可能なPDFデータとすること。

(4) 作成要領

提案書に記載すべき事項は、別添の「要求水準書」を参考として、別添の「事業者選定基準」に示す項目を後述の様式集を用いて、総合評価方式一般競争入札における各種提出書類の作成をすること。

- (ア) 様式集で提案及び提示を求めている全ての事項に関して記述すること。
- (イ) 各様式の記載事項については、概略図等を含めて提案内容が確認できるように記述すること。添付資料は、補足資料とする。
- (ウ) 他の様式に関連する事項が記載されている等、参照が必要な場合には、該当する頁や様式番号を記入するなど、その箇所をわかりやすく示すこと。
- (エ) 企業名を伏せて選定を行うため、提案書等には、社名、社印及びロゴマーク並びに個人情報、業務実績等で記載する相手方の正式名称など、提案者が特定できるものは使用しないこと。使用した場合、失格とする。

(5) 書式等

- (ア) 使用する用紙は、表紙を含めて各規定様式を使用し、原則 A4 判縦長横書きとする。指定のある場合又は図表等で A4 がふさわしくない場合は A3 の使用を認める。
- (イ) A4 が原則となっている頁数の制限は A4 換算で行う。(A3 1 頁=A4 2 頁)
- (ウ) 各提出書類で使用する文字の大きさは、原則として 10.5 ポイントとすること。事業提案書等の図表内の文字の大きさについては 10.5 ポイント未満でも構わないものとする。
- (エ) 各提出書類に用いる言語は日本語、通貨は円、単位は SI 単位とすること。
- (オ) 使用ソフトは、Microsoft Word、Microsoft Excel 及び CAD (dxf 形式) を使用するこ

と。

(6) 編集方法

(ア) 提出書類の1項目が複数頁にわたるときは、右下に番号を振ること。

例) 1/3、2/3、3/3

(7) 提案書の作成における留意事項

(ア) 提案書の作成に当たり、簡単な図や表、挿絵（イラスト）程度は認めるが模型の利用は認めない。

(イ) 記述内容や提案の構成等は、提案価格や内訳の根拠となるよう配慮して記述すること。

3 提出方法

(1) 入札公告等に関する質問・意見に関する提出書類の提出方法

入札公告等に関する質問・意見に関する提出書類は、電子メールで送付すること。
送付先等は入札説明書の5の(8)を参照すること。

(2) 入札参加資格申請時に関わる提出様式の提出方法

- (ア) 入札参加資格確認申請書類について、A4 判縦長左綴じとし、1 部提出すること。入札参加資格確認申請書類は、A4 サイズのフラットファイルに綴じ、表紙に「大和郡山市水道施設監視制御システム更新事業 入札参加資格確認申請書類」の文字及び「会社名」を記載すること。また、ファイルの背表紙にも同様の記載をすること。なお様式毎にインデックスを付けるものとする。
- (イ) 作成した入札参加資格確認申請書類は、入札説明書に示す期間内に昭和浄水場まで持参すること。

(3) 提案書に関わる提出様式の提出方法

- (ア) 提案書は、入札説明書に示す期限内に昭和浄水場に持参すること。
- (イ) 提案書は、A4 判縦長左綴じとし、A4 サイズのファイルに綴じ、8 部（正本 1 部、副本 7 部）を提出すること。
また、表紙に「大和郡山市水道施設監視制御システム更新事業 技術提案書」の文字、「受付記号（本市が入札参加資格確認結果において通知するアルファベット）」を記載すること。また、ファイルの背表紙にも同様の記載をすること。
- (ウ) 技術提案書提出時には、上記(2)で作成した提出書類と同じ内容を保存した CD-ROM を 1 枚提出すること。当該 CD-ROM には、「大和郡山市水道施設監視制御システム更新事業 技術提案書」の文字及び「受付記号」を明記すること。
- (エ) CD-ROM 内のフォルダー構成は「技術提案書」とし、必要なファイルを書面で提出する「技術提案書」と同様の構成とするなど分かり易く保存すること。また技術提案書については作成した Microsoft Word、Microsoft Excel 等のデータ及びこれらを PDF に変換したデータ（PDF はテキストを読み込むことができる形式とすること）を「技術提案書」フォルダーに保存すること。
- (オ) 提出書類とデータの内容が異なっている場合は、提出された書類（正本）の内容を優先する。その相違による不利益は、入札参加者が負うものとする。

(4) 提案価格書に関わる提出方法

- (ア) 提案価格書には、金額、企業の住所、商号又は名称及び代表者職氏名を記入し、届け出た使用印鑑を鮮明に押印すること。
- (イ) 提案価格書は、交付された封筒に入れ、封緘すること。提案価格書の日付については、

提出日までを有効とする。

- (ウ) 提案価格書封筒の表面に、提出日、「大和郡山市水道施設監視制御システム更新事業」と記載し、裏面に企業の会社住所、商号又は名称及び代表者職氏名を記入し、届け出た使用印鑑で押印（裏面割印）すること。
- (エ) 提案価格提出書類一覧表は、上記封筒に入れずに提出すること。
提案価格内訳を添付する場合は、上記封筒に同封すること。

4 様式一覧

様式番号	項目	枚数 (以内)	備考	
様式Ⅰ 入札説明書関係様式				
様式Ⅰ-1	入札説明書等に関する質問書	適宜		
様式Ⅱ 入札参加資格確認申請時様式				
様式Ⅱ-0	入札参加資格確認申請時提出書類一覧表	1 ページ	参加資格 確認時	
様式Ⅱ-1	入札参加表明書	1 ページ		
様式Ⅱ-2	入札参加資格確認申請書	1 ページ		
様式Ⅱ-3	暴力団に関与のない旨等の誓約書兼承諾書	1 ページ		
様式Ⅱ-4	入札参加資格の確認結果に関する説明の要求書	1 ページ	必要時	
様式Ⅲ 技術提案に関する事項				
様式Ⅲ-0	技術提案時提出書類一覧表	1 ページ	提案書 提出時	
様式Ⅲ-1	システム構築及び設計・施工における基本方針	2 ページ		
様式Ⅲ-2	システムの応用機能	2 ページ		
様式Ⅲ-3	セキュリティ対策及び災害・故障等の緊急事態におけるリスク想定	2 ページ		
様式Ⅲ-4-1	将来におけるシステムの拡張性	2 ページ		
様式Ⅲ-4-2	機能増設時の費用	1 ページ		
様式Ⅲ-5	工事に関する安全・品質管理及び切替工事の留意点	1 ページ		
様式Ⅲ-6-1	監視制御システムの保守計画及び維持管理	1 ページ		
様式Ⅲ-6-2	事業終了後の維持管理費	1 ページ		
様式Ⅲ-6-3	事業終了後のクラウドサービス利用料金	1 ページ		
様式Ⅲ-7 要求水準チェックリスト				
様式Ⅲ-8 システム構成図 (A3)		任意		
様式Ⅲ-9 工程表 (A3)		任意		
様式Ⅳ 提案価格に関する事項				
様式Ⅳ-0	提案価格提出書類一覧表	1 ページ		
様式Ⅳ-1	提案価格書	1 ページ		
様式Ⅳ-2	提案価格内訳	任意		
様式Ⅴ 入札辞退届		1 ページ	辞退時	

様式 I 入札説明書関係様式

令和 年 月 日

大和郡山市水道事業管理者 上田清 様

入札説明書等に関する質問書

令和6年10月7日付で公表されました「水道施設監視制御システム更新事業」の入札説明書等について、以下のとおり質問がありますので提出します。

商号又は名称	
住所	
担当者名	
所属・役職	
電話	
電子メール	

No.	書類名	頁等	項目					内容
			1	(1)	ア	(ア)	A	
0	実施方針	別紙2	1	(1)	ア	(ア)	A	※この行は記入例です。
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

※水色の網掛け部分に、該当書類、該当箇所を記したうえで、意見や提案を記入ください。

※文字は「全角」、数値は「半角」で入力してください。

※行数が不足する場合は、適宜行を挿入してください。

別添、Microsoft Excel ファイルをダウンロードして記入して下さい。

様式Ⅱ 入札参加資格確認時様式

(様式Ⅱ-0)

令和 年 月 日

入札参加資格確認申請時提出書類一覧表

提出書類の種類	様式 No.	部数	確認欄	
			参加者	本市
【様式Ⅱ 入札参加資格確認申請時提出書類】				
●入札参加資格確認申請時提出書類一覧表	様式Ⅱ-0	正本1部		
●入札参加表明書	様式Ⅱ-1	正本1部		
●入札参加資格確認申請書	様式Ⅱ-2	正本1部		
●暴力団排除に関する誓約書（代表企業、構成企業 全て提出）	様式Ⅱ-3	正本1部		
●入札参加資格の確認結果に関する説明の要求書	様式Ⅱ-4	正本1部	—	—
【以下、添付資料】				
●建設企業として、必要な特定建設業の許可（電気 工事）を受けていることを示す書類	—	正本1部		
●大和郡山市建設工事等入札参加資格者（電気工事） であることを示す書類	—	正本1部		
●建設業法に規定する総合評価値通知書（経営事項 審査結果通知書で最新のもの）の電気工事の総合 評価値（P点）を示す書類	—	正本1部		
●建設企業（電気工事）に求める実績を有している ことを示す書類	—	正本1部		

(注) 提出書類の種類と部数を確認し、「参加者確認」欄をチェックしてください。

(様式Ⅱ-1)

令和 年 月 日

入札参加表明書

大和郡山市長 上田清 様

[企業]

商号又は名称

所在地

代表者名

印

令和6年10月7日付で公表されました「水道施設監視制御システム更新事業」に係る総合評価一般競争入札方式に参加することを表明いたします。

(注) 提出書類の確認のため、様式Ⅱ-0の入札参加資格確認申請時提出書類一覧表の「入札参加者確認」欄にチェックの上、あわせてご提出ください。

(様式Ⅱ-2)

令和 年 月 日

入札参加資格確認申請書

大和郡山市長 上田清 様

[企業]

商号又は名称

所在地

代表者名

印

令和6年10月7日付で公表されました「水道施設監視制御システム更新事業」に係る入札参加資格の確認のために、必要書類を添付して申請します。

なお、入札説明書に定められた入札参加資格要件等を満たしていること、提出書類の記載事項及び添付資料のすべての記載事項が事実と相違ないことを誓約します。

大和郡山市長 様

所在地

商号

代表者名

実印又は届出印

暴力団に関与のない旨等の誓約書兼承諾書

私（当社）は、貴市の実施する下記の入札に参加するにあたり、下記の事項について誓約いたします。
なおこれらの事項に反する場合、参加資格や指名の取消及び契約解除等、貴市が行う一切の措置について異議の申し立てを行いません。

また、誓約内容確認のため、貴市が必要に応じ本承諾書を以て関係官庁に調査、照会することを承諾いたします。

記

1. 入札件名 大和郡山市水道施設監視制御システム更新事業

2. 公告日時 令和6年10月7日（月）

3. 誓約事項等

(1) 私（当社）は下記のいずれにも該当しません。

- ① 代表者等若しくは役員等が、暴力団の関係者である。
- ② 暴力団又暴力団員が経営に実質的に関与していると認められる。
- ③ 代表者が不正な利益を得、役員等若しくは第三者に不正な利益を得さしめ、又は損害を与える目的で、暴力団又は暴力団員を利用している。

（役員等が不正な利益を得、代表者若しくは第三者に不正な利益を得さしめ、又は損害を与える目的で、暴力団又は暴力団員を利用している。）

- ④ 代表者又はその役員等が暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与し、その他直接的若しくは積極的に暴力団の維持及び運営に協力し、又は関与している。
- ⑤ ③及び④に示す場合のほか、役員等が暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している。
- ⑥ 当市発注契約に係る下請、資材又は原材料の購入等の契約（以下「下請契約等」という。）を締結するにあたり、その相手方が上記の①から⑤までのいずれかに該当することを知りながらこれを締結している。

⑦ 代表者が①から⑤までのいずれかに該当する者を下請契約等の相手方としていた場合（上記⑥に該当する場合を除く。）であって、市長が代表者に当該下請契約等の解除を求めたにもかかわらず、代表者が正当な理由なしにこれに従わない。

- ⑧ 代表者が当市発注契約を履行するにあたり、暴力団又は暴力団員から不当介入を受けたにもかかわらず、遅滞なくその旨を当市に報告せず、又は警察に届けないと認められる。

(2) 前項各号に該当する事由の有無の確認のため、役員名簿等（住所・氏名（フリガナ）・生年月日・性別等（法人にあたっては全役員））の提出を求められたときは速やかに提出し、調査に協力いたします。

(様式Ⅱ-4)

入札参加資格の確認結果に関する説明の要求書

大和郡山市長 上田清 様

〔企業〕

商号又は名称

所在地

代表者名

印

令和6年10月7日付で公表されました「水道施設監視制御システム更新事業」に係る入札参加資格の確認結果に関する説明を要求いたします。

様式Ⅲ 技術提案書様式

(様式Ⅲ-0)

令和 年 月 日

技術提案時提出書類一覧表

提出書類の種類	様式 No.	部数	確認欄	
			参加者	本市
【様式Ⅲ 技術提案書様式】				
●技術提案時提出書類一覧表	様式Ⅲ-0	正本 1 部 副本 7 部		
●システム構築及び設計・施工における基本方針	様式Ⅲ-1	正本 1 部 副本 7 部		
●システムの応用機能	様式Ⅲ-2	正本 1 部 副本 7 部		
●セキュリティ対策及び災害・故障等の緊急事態におけるリスク想定	様式Ⅲ-3	正本 1 部 副本 7 部		
●将来におけるシステムの拡張性	様式Ⅲ-4-1	正本 1 部 副本 7 部		
●機能増設時の費用	様式Ⅲ-4-2	正本 1 部 副本 7 部		
●工事に関する安全・品質管理及び切替工事の留意点	様式Ⅲ-5	正本 1 部 副本 7 部		
●監視制御システムの保守計画及び維持管理	様式Ⅲ-6-1	正本 1 部 副本 7 部		
●事業終了後の維持管理費	様式Ⅲ-6-2	正本 1 部 副本 7 部		
●事業終了後のクラウドサービス利用料金	様式Ⅲ-6-3	正本 1 部 副本 7 部		
●要求水準チェックリスト	様式Ⅲ-7	正本 1 部 副本 7 部		
●システム構成図 (任意様式)	様式Ⅲ-8	正本 1 部 副本 7 部		
●工程表 (任意様式)	様式Ⅲ-9	正本 1 部 副本 7 部		

(注) 提出書類の種類と部数を確認し、「参加者確認」欄をチェックしてください。
任意様式の提出書類は、すべての頁の右上に様式 No. を記載してください。

システム構築及び設計・施工における基本方針

安定した浄水処理及び水運用を継続していく上で、監視システムの提案及び民間事業者の技術やノウハウを最大限に活用し、安全かつ効果的に事業を進めるための提案について、以下の点を具体的に記載してください。

- ①安心・安全な水運用を行う上で、システム構築の基本方針と信頼性向上の観点から留意する事項について
- ②水運用を監視する上で、重要と考える内容について
- ③設計・施工の実施体制及び工程管理について

(添付資料)

- ・システム構成図
- ・工程表
- ・要求水準書 3 項、4 項に記載の要求事項を満たしていることが確認出来る図面及び説明資料を添付すること。

●評価の視点

- ・安全・強靱・持続可能なシステムを実現するための基本方針として、優れたものを評価する
- ・水道施設の各工程の水量・水圧・水質状況等の情報を一元管理して、水運用を行う重要性に対する理解度を評価する
- ・実施体制及び工程管理の具体性及び妥当性を評価する
- ・県内業者を下請け業者とするなど、地域貢献への配慮があることを評価する

※この囲み内の記載内容は、提案書作成時に削除してください。

- 備考 1 A4判：2枚以内。
2 この様式で記載し、下段右下に受付記号を明記すること。

システムの応用機能

今回提案される監視制御システムの応用機能について、具体的に記載してください。

●評価の視点

- ・要求水準書を超える機能として、視認性、操作性、安全性の向上及び監視業務の負荷軽減につながる具体的な提案を評価する

※この囲み内の記載内容は、提案書作成時に削除してください。

- 備考
- 1 A4判：2枚以内。
 - 2 この様式で記載し、下段右下に受付記号を明記すること。

セキュリティ対策及び災害等の緊急事態に対するリスク想定

システムの信頼性を高める上でのセキュリティ対策及び、災害・故障等の緊急事態を想定した施策やリスク想定として、以下の点を具体的に記載してください。

- ①システム全体のセキュリティ対策について
- ②災害・故障等の不測の事態に対するリスク想定及び低減策について

●評価の視点

- ・クラウドサーバにおけるセキュリティ対策及び、LCD 監視装置の脆弱性を排除するための対策に対する具体的な提案を評価する
- ・災害・故障等により、正常にシステムが機能しない事態のリスク想定及び低減策について、システム構成に対応したリスク想定と有効な対策がなされていることを評価する

※この囲み内の記載内容は、提案書作成時に削除してください。

- 備考 1 A4判：2枚以内。
2 この様式で記載し、下段右下に受付記号を明記すること。

将来におけるシステムの拡張性

将来、今回対象外となる浄水場及び場外施設を監視制御システムに取り込む場合の提案について、以下の点を具体的に記載してください。

- ①監視操作対象施設の追加に対するシステムの拡張性について
- ②将来において浄水処理設備の更新、拡張、増設等を想定したシステムの適応性について

配管ルートや機器配置、建屋内発熱量等の検討について、提案してください。

●評価の視点

- ・浄水場及び場外施設をシステムに追加することを想定した、拡張性に対する具体的な提案を評価する
- ・浄水場において浄水処理設備を更新する際の、監視制御システムの適応性に対する具体的な提案を評価する

※この囲み内の記載内容は、提案書作成時に削除してください。

- 備考 1 A4判：2枚以内。
2 この様式で記載し、下段右下に受付記号を明記すること。

機能増設時の費用

将来、昭和浄水場及び今回対象外である場外施設の信号を、監視制御システムに取り込むことを想定した費用を、以下の点に留意して算出してください。

- ・クラウドサーバにおける機能増設についての費用を算出すること
- ・機器費、工事費、通信費については上記に含まないこと
- ・要求水準書 5章3節(3)表2に記した信号点数を元に見積を算出すること
- ・将来の機能増設を考慮して、入出力点数は20%程度余裕を持つものとする
- ・トレンドグラフ30枚、帳票10枚、フロー5枚を想定すること

(機能増設費用) 金額 _____ 円 (税抜)

No.	項目	既設概略信号点数			
		DI	DO	AI	AO
1-20	昭和浄水場及び井戸	375	162	106	4
21-28	場外施設	61	21	12	0
-	合計	436	183	118	4

※金額は税抜で記載すること

※その他項目について記載する場合は、下記にその内容を示すこと

- 備考 1 A4判：1枚以内。
2 この様式で記載し、下段右下に受付記号を明記すること。

工事に関する安全・品質管理及び切替工事の留意点

工事期間の安全・品質管理体制と実施事項の提案及び、切替工事において留意する事項について、以下の点を具体的に記載してください。

①安全・品質管理体制及び実施事項について

②切替工事における留意点について

●評価の視点

- ・安全・品質に関する事項について、具体性及び妥当性を評価する
- ・切替工事における危機管理対策について、具体性及び妥当性を評価する

※この囲み内の記載内容は、提案書作成時に削除してください。

- 備考 1 A4判：1枚以内。
2 この様式で記載し、下段右下に受付記号を明記すること。

監視制御システムの保守計画及び維持管理

保守計画や維持管理について、以下の点を具体的に記載してください。

- ①保守・メンテナンス計画（内容、メンテナンス周期、消耗品の交換周期、機器の更新周期）について
- ②システムの維持管理費を抑えるための工夫について

●評価の視点

- ・監視制御システムの持続可能な運用に向けた提案について、具体性及び妥当性を評価する
- ・維持管理費を抑制する効果が見込まれる提案について評価する

※この囲み内の記載内容は、提案書作成時に削除してください。

- 備考 1 A4判：1枚以内。
2 この様式で記載し、下段右下に受付記号を明記すること。

事業終了後の維持管理費

本事業終了後、15年あたりの維持管理費について、以下の点に留意して算出してください。

- ・機器点検費について、本事業の対象となる機器の点検、消耗品交換などについて記入すること
- ・修繕費について、本事業の対象となる機器の修繕及び交換などについて記入すること
- ・サーバ使用料、通信費、保守・サポート料については含まないこと

(15年間の合計) 金額 _____ 円 (税抜)

年度 項目	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
機器点検費					
修繕費					
その他					
合計					

年度 項目	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度	令和18年度
	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
機器点検費					
修繕費					
その他					
合計					

年度 項目	令和19年度	令和20年度	令和21年度	令和22年度	令和23年度
	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目
機器点検費					
修繕費					
その他					
合計					

※金額は税抜で記入すること

※内容の補足やその他項目について記載する場合は、下記にその内容を示すこと

- 備考 1 A4判：1枚以内。
2 この様式で記載し、下段右下に受付記号を明記すること。

事業終了後のクラウドサービス利用料金

本事業終了後、1年あたりのクラウドサービス利用料金について以下の項目に対して算出し、記載してください。

- ・サーバ使用料、通信費、保守・サポート料についての記載があること
- ・様式Ⅲ-6-2 維持管理費については含まないこと

(1年間のサービス利用料金) 金額_____円(税抜)

項目	費用(1年あたり)	摘要
サーバ使用料		
通信費		
保守・サポート料		
その他		
合計		

※金額は税抜で記入すること

※内容の補足やその他項目について記載する場合は、下記にその内容を示すこと

- 備考 1 A4判：1枚以内。
2 この様式で記載し、下段右下に受付記号を明記すること。

要求水準チェックリスト (1/5)

要求水準書の項目	チェック項目	提案書記載箇所(頁、行)	
			チェック
3 設計業務要求水準			
(1) 基本事項	ア 業務の範囲		
		・設計業務の範囲として、事前調査、監視制御システム設計業務、その他不随する業務を見込んでいるか。	
	イ 業務の期間		
		・要求水準書「2 (4) 事業スケジュール」に沿って事業を確実に実施できるような、妥当性の高い事業スケジュールを計画しているか。	
	ウ 業務内容		
		・本設計の業務内容について、要求水準書に記載の業務内容を含む詳細設計として計画しているか。	
(2) 設計業務の基本方針	エ 打合せ協議等		
		・業務着手時及び完了時並びに業務履行中の中間打合せを実施することとしているか。	
	ア 設計計画、設計体制の妥当性		
		・性能、工期、安全等を確保するように、責任が明確な体制を構築するとともに、統一的な品質管理体制に配慮しているか。	
		・切り替え時及び更新後において、安定的な浄水場の運転及び水運用を確保するために、既設中央監視制御システムの調査を十分に行い、更新後のシステムに反映することを計画しているか。	
	イ 操作性、安全性等への配慮		
	・システム・設備等の性能（仕様、構成等）の決定にあたり、市が長期間にわたって、安定した水運用及び運転管理を行えるよう配慮しているか。		
	・浄水場及び場外施設に配慮した計画として施工にあたり、施設及び周辺地域への影響（騒音、振動、臭気等）を極力少なくするよう配慮しているか。		
	・機器の選定及び設置は、構造物や他設備等に関する条件を留意のうえ、それらに見合った機器（形式、寸法、設置方法）の選定を行い、室内及び盤内の有効スペース確保に留意しているか。		
	・機器選定にあたっては、管理・取り扱いがしやすいように配慮しているか。		
	・外部データセンターへのデータ伝送にあたり、集中監視を行う浄水場及び場外施設共にセキュリティが高く、かつ信頼性が高い外部から排他的な通信方法を選定しているか。		
ウ 設置場所への配慮			
	・運転管理及び維持管理動線を考慮した機器レイアウトとしているか。		
	・性能劣化や機器の故障等が生じにくいよう、機器の設置環境に配慮しているか。		
エ 機能拡張・機器増設への配慮			
	・本事業で設置する監視制御システムは、表1及び表2に示す浄水場及び場外施設の監視制御機能の取り込みが可能となる、拡張性の高い監視制御システムを採用しているか。		
	・工業用PLC、FA/パソコン等は汎用機器を中心とした機器構成となっているか。		
	・監視制御システムを更新・機能増設する場合に必要な費用を算出し、提示しているか。		
	・本工事で整備する監視制御システムとは別で整備予定の情報管理システムに、汎用インターフェース（FL-net、OPC UAのいずれかの予定）で接続して、山田ポンプ場、山田第一配水池及び山田第二配水池の情報を送信することが可能となっているか。		
オ 維持管理への配慮			
	・機材・部品や消耗品などの修繕・交換において、汎用性の高い機器・部品を選定しているか。		
	・データ伝送において、年間に係る通信費と安全面に配慮し最適な通信方法を選定しているか。		
	・クラウドサービスの利用料、通信費を含む維持管理費を算出し、提示しているか。		

要求水準チェックリスト (2/5)

要求水準書の項目	チェック項目	提案書記載箇所(頁、行)	
			チェック
(3) 設計業務の要求水準	ア 監視制御システムに関する事項		
	監視制御システムは昭和浄水場における集中監視として、システム構成は外部サーバーを利用したクラウド型監視制御システムとしているか。		
	(ア) 監視制御システム・機器に関する事項		
	下記に示す①～④のそれぞれについて、要求水準を満たす性能を有するか。 また、⑤～⑪のそれぞれについて、要求水準を満たす計画であるか。		
	①データサーバ ・故障や災害に考慮し、サーバー構成が冗長化されているか。 ・大規模災害に備えて2拠点以上で構成されているか。 ・各データセンターの電力システムが冗長化されていて、電力障害時に運用を維持するための電力供給を可能とするバックアップ電源が、データセンターに備わっているか。		
	②LCD監視装置 ・場外施設の監視操作が行えるか。 ・将来、昭和浄水場及び本事業対象外の場外施設を取込むことを想定した監視制御システムの構成となっているか。 ・監視装置に使用するPCは、FA/パソコン(24時間365日連続稼働・10年保守対応)が選定されているか。 ・LCDモニタは、23インチ以上の監視画面が明確に表示されるものを選定されているか。 ・監視操作性の向上と故障の対応を配慮し、LCDモニタを複数台設置されているか。		
	③タブレット端末 ・監視端末として、タブレット端末を3台納入する計画となっているか。		
	④プリンタ ・LCD監視装置の画面やトレンドグラフ、帳票印字を行うことを配慮した機能を持っているか。		
	⑤通信伝送装置 ・浄水場及び場外施設に、情報データの伝送機能を持っているか。 ・使用するPLCは、国内メーカーが製造するもので10年以上の使用に耐えうるものが選定されているか。 ・PLCは2重化(CPU及び電源部)構成となっているか。 ・監視制御システムと汎用な通信プロトコルで接続し、信号取り合いが行えるか。		
	⑥監視操作盤(昭和浄水場) ・既設監視操作盤は、山田第1配水池、山田第2配水池、山田ポンプ場、9号取水場及び11号取水場の監視操作機能を新監視制御システムに移行し、その他取水場の監視操作は将来見込む更新まで継続して行うが、浄水場の運転及び水運用に配慮した改造処置を行う設計となっているか。 ・山田第1配水池テレメータ装置の撤去にあたり、監視操作盤の既存機能を阻害しないよう考慮し計画・作業が行えるか。		
	⑦データ伝送装置/テレメータ盤(昭和浄水場) ・対象施設11号取水場テレメータ装置が実装されており、その他取水場及び場外施設のテレメータ装置が有する機能は、将来見込む更新まで継続して行う必要がある。そのため、既存機能を阻害しないよう配慮した計画・作業が行えるか。		
	⑧動力計装盤(山田第1配水池) ・既設動力計装盤に昭和浄水場向けテレメータ装置及び山田第2配水池向けテレメータ装置が実装されており、本事業では当該装置を撤去して、通信伝送装置を新設する設計となっている。 ・通信伝送装置を取付けるにあたり、配水池の運用を配慮し、監視機能及び自動運転機能の停止は、本市職員立会いのもと日中に行うこととし、夜間は監視機能及び自動運転機能を復旧できるよう極力短時間で切り替えられる作業計画となっているか。そのためには、当該盤内に取付けることと新たな通信盤を設けることは問わない。		
⑨動力計装盤(山田第2配水池) ・既設動力計装盤に山田第1配水池向けテレメータ装置が実装されており、本事業では当該装置を撤去して通信伝送装置を新設する設計となっているか。 ・通信伝送装置を取付けるにあたり、配水池の運用を配慮し、監視機能及び自動運転機能の停止は、本市職員立会いのもと日中に行うこととし、夜間は監視機能及び自動運転機能を復旧できるよう極力短時間で切り替えられる作業計画となっているか。そのためには、当該盤内に取付けることと新たな通信盤を設けることは問わない。			
⑩動力計装盤(山田ポンプ場) ・直送ケーブルは廃止・撤去とし、本事業において通信伝送装置を設置し新たに通信ネットワーク回線が構築されているか。			
⑪取水ポンプ制御盤(昭和9号取水場) ・直送ケーブルは残置し、本事業において通信伝送装置を設置し新たに通信ネットワーク回線が構築されているか。 ・通信伝送装置は盤内にスペースを設けた新盤(別途工事)に設置されているか。			

要求水準チェックリスト (3/5)

要求水準書の項目	チェック項目	提案書記載箇所(頁、行)	
			チェック
(3) 設計業務の要求水準	⑫取水ポンプ制御盤 (昭和11号取水場) ・昭和浄水場向けテレメータ装置が実装されており撤去されているか。 ・通信伝送装置は盤内にスペースを設けた新盤 (別途工事) に設置されているか。 ・既設テレメータ盤は撤去されているか。		
	(イ) 監視制御システムの機能に関する事項		
	下記に示す①～⑫のそれぞれについて、要求水準を満たす機能を有すること。		
	①操作機能 ・LCD監視装置では、浄水処理・水運用のモード切替、運転、停止等の操作をはじめ、計測値の警報設定などの操作機能を有しているか。 ・今回停止する既設テレメータ装置の既存機能の代替となる操作機能を有しているか。		
	②監視画面機能 ・フロー画面を計測値と共に表示でき、設備運転状態の詳細を把握できるか。 ・監視表示画面は視認性と拡張性が高いものとし、フロー画面からトレンドグラフや積算グラフなど別の画面を展開できるか。		
	③警報表示機能 ・異常が発生した場合は、故障機器や異常データを含む警報通知を行う機能が実装されているか。 ・機器故障時は、機器シンボルの色変化により、画面表示から異常が視認できるか。 ・計測値の異常発生時には、値の色変化など、画面表示から異常が視認できるか。		
	④警報履歴機能 ・警報発生後は、警報名称、発生/復旧日時、異常値等を保管する警報履歴機能が実装されているか。 ・期間指定や検索機能により、履歴の活用を補助する機能が実装されているか。		
	⑤操作/状態履歴機能 ・操作や機器の状態遷移を記録、保管する履歴機能が実装されているか。 ・操作内容としては、設備の運転停止や機器の起動操作等、時刻や機器名称、動作状態を残すことができるか。		
	⑥トレンドグラフ機能 ・トレンドグラフは、関連データの時系列的な相関を見るのに適し、1画面に表示するデータ項目の組合せは自由に選択できるか。 ・1つの画面で色分けした複数の折れ線グラフを表示することができ、自在に時間を遡り表示できるか。 ・時間軸の表示間隔は少なくとも1時間～1年の単位で変更できるか。		
	⑦計測モニタ機能 ・検出された計測値を縦型指示計様式で一覧表示し、計測値ごとに個別表示や制御目標値、上下限警報設定値の設定変更等ができるか。		
	⑧帳票機能 ・収集された計測値や積算値を帳票形式でまとめて画面表示する、帳票機能が実装されているか。 ・日報、月報、年報を表示でき、Microsoft Excelとして電子データ出力ができるか。 ・帳票データの確認画面を設け、監視画面上で帳票データが編集可能か。		
⑨自動警報通報機能 ・浄水場の集中監視場所以外でも緊急な警報を周知できるよう、メール等の外部警報通報機能が実装されているか。 ・外部警報通知機能は警報発生時のみでなく、警報復旧時も発報出力できる機能を有するか。			
⑩データの保存期間 ・データベースには、計測データや積算データ、プラント機器等の状態変化データや、故障発生状況データ等の警報履歴を収集、蓄積が行なえるか。 ・データベースに格納されるデータは、CSV等の形で外部出力が可能か。 ・1分単位のデータは、1年以上保管できるか。 ・1時間単位のデータは、3年以上保管できるか。 ・1日単位のデータは、5年以上保管できるか。 ・1月単位のデータは、5年以上保管できるか。 ・警報履歴は、5000件以上保管できるか。 ・操作/状態履歴は、それぞれ5000件以上保管できるか。			
⑪画面表示の応答速度 ・応答速度は、集中監視される浄水場のLCD監視装置から操作を行い、監視画面の状態表示が切り替わるまでの時間が5秒未満となっているか。 ・応答速度は、場外施設の機器起動時間等は含まないものとして算出されているか。			

要求水準チェックリスト (4/5)

要求水準書の項目	チェック項目	提案書記載箇所(頁、行)	
			チェック
(3) 設計業務の要求水準	⑫監視制御システム概略信号点数 ・要求水準書に記載の概略点数を参照し、必要に応じて点数を追加可能な拡張性が高い柔軟なシステムが構築されているか。 ・将来の機能増設を考慮して、各監視制御システムの入出力点数及びシステム全体の入出力点数は、20%程度余裕を持っているか。 ・監視制御機能の充実化を行い、運転管理性の向上を図るため、協議において監督員が指示する信号について、取り込みが行えるか。		
	(ウ) 通信・ネットワーク回線網に関する事項		
	下記に示す①～③のそれぞれについて、要求水準を満たす計画であること。		
	①事業範囲 ・昭和浄水場-場外施設(山田第1配水池、山田第2配水池、山田ポンプ場、昭和9号井戸、昭和11号井戸)間の通信・ネットワーク回線網は、市が別途契約する Interconnected WANを用いて通信しているか。 ・クラウドのデータサーバへの通信及びネットワーク回線網は次項の条件に適した回線を選定しているか。 ・通信及びネットワーク回線の導入に係る費用の一切は、事業者が負担すること。 ・通信速度、データサーバへの接続上で問題が無ければ前項で示す Interconnected WANを利用してもよい。 ・通信事業者が提供する回線終端装置を設置するスペース及び配線ルートを、本事業で確保すること。		
	②ネットワーク回線選定条件 ・モバイル回線等の無線による通信方法は選定されていないか。 ・光ケーブルやメタルケーブルを利用した通信方法が選定されているか。 ・通信障害や通信装置の故障時に、迅速な対応と復旧がなされる通信回線が選定されているか。		
	③ネットワーク回線網 ・信頼性とセキュリティについて配慮し、Virtual Private Networkのような排他的なものが適用されているか。 ・インターネットに接続されない閉鎖的なネットワーク回線網が構築されているか。 ・維持管理と通信費に配慮し最適なネットワーク回線網が選定されているか。		
	イ 施工に関する要求事項		
	・浄水場並びに場外施設の機器配置は、設置環境及び維持管理動線を考慮したものであるか。		
	・切り替えにあたっては、浄水場の運用に支障を与えない手順を計画であるか。 ・浄水場の維持管理、執務に配慮し、切り替え中においても原則として操作室での運転管理が可能なものであるか。		
	・新旧の監視制御システム設備の切り替えは、データの欠落を最小限にするよう、手順について十分に配慮しているか。		

要求水準チェックリスト (5/5)

要求水準書の項目		チェック項目	提案書記載箇所(頁、行)	
				チェック
4 更新工事要求水準				
(1) 基本事項	ア 工事の範囲	・要求水準書に記載の工事範囲に基づき、必要な施工を計画しているか。		
	イ 工事の期間	・「2 (4) 事業スケジュール」に定める日に合わせて、必要とされる工事期間を設定しているか。 ・事業期間内において対象の場外施設全て監視制御システムの供用が開始できるよう計画されているか。		
(2) 更新工事の基本方針	ア 施工計画・施工体制の妥当性	・「2 (4) 事業スケジュール」に定める整備完了日に全設備の供用が開始されるよう、各年度の整備スケジュールを定め、それらの供用開始が可能となる確実性、妥当性の高い施工計画・施工体制を有しているか。 ・性能、工期、安全等を確保するように、責任が明確な体制を構築するとともに、統一的な品質管理体制に配慮しているか。		
	イ 別途工事との調整	・事業者は、監視制御システムの更新に伴う工事一式を施工するものとしているか。 ・工事施工その他、監視制御システムの更新にあたって必要となる各種許可申請、届出等については、事業者の責任において、当該所轄官庁へ許可申請、届出等を行うものとしているか。 ・仮設、施工方法及びその他工事を行うために必要な一切の工事については、事業者が自己の責任において行うものとしているか。		
(3) 更新工事の要求水準	ウ システム及び設備の切り替え、停止に関する条件	・職員の立会いのもと実施する計画としているか。 ・対象の施設の全停電は、行わない計画としているか。 ・既設設備から新設備への切り替え作業は、稼働中設備の運用に極大影響を与えないものとして、水運用は停止しないものとしているか。 ・施設運転に支障を与えないよう配慮されているか。 ・切り替え中においても浄水場の既設中央監視制御システムに影響がでないような計画としているか。 ・工事完了後に本市の施設台帳へ「機場名、機器名称、施設設備区分、設備種別、区分、工種区分、所在地、設置場所」等を記入する計画としているか。		
	ウ システム及び設備の切り替え、停止に関する条件	・本事業期間中に対象とされる施設敷地内において、市が発注する他工事や作業等が行われた場合、工事計画等については、市を通じ、別途工事等の請負者と十分調整を行い、事業を円滑に進めるものとしているか。		

別添、Microsoft Excel ファイルをダウンロードして記入して下さい。

様式Ⅳ 提案価格に関する事項

(様式IV-0)

令和 年 月 日

価格提案提出書類一覧表

提出書類の種類	様式 No.	部数	確認欄	
			参加者	本市
【様式IV 価格提案様式】				
●価格提案提出書類一覧表	様式IV-0	正本 1 部		
●提案価格書	様式IV-1	正本 1 部		
●提案価格内訳（任意様式）	様式IV-2	正本 1 部		

(注) 任意様式の提出書類は、すべての頁の右上に様式 No. を記載してください。

提 案 価 格 書

金 額	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円

(消費税等抜き)

ただし(件名)

上記のとおり貴市の説明事項に基づいた見積りの上、提案価格とします。

令和 年 月 日

(見積者) 所在地

商号又は名称

代表者職氏名

印

(宛先)

大和郡山市長

様式V 入札辞退届

(様式V)

入札辞退届

大和郡山市長 上田清 様

[企業]

商号又は名称

所 在 地

代 表 者 名

印

令和6年10月7日付で公表されました「水道施設監視制御システム更新事業」に係る入札を辞退いたします。